

## 社会

## 6年生 | 「開国と明治維新」

## 東京遷都！ その時、京都は…？

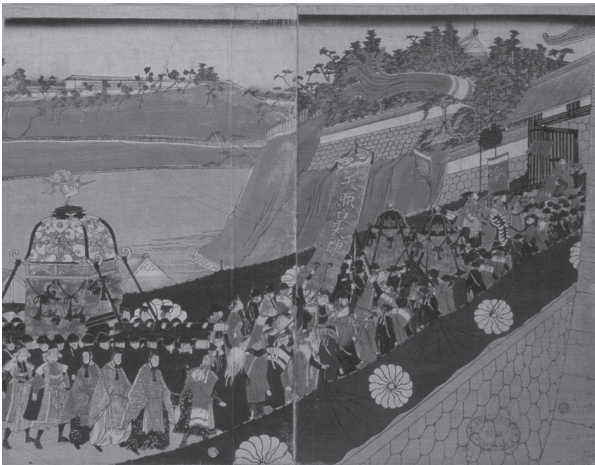
## 1. はじめに

江戸時代から明治時代へと時代が変わると、新しい政府によって大きな変革がいくつも実施されました。新政府は、江戸を東京と改称して、首都に定め、天皇は京都から東京に移りました。実に1000年以上も都が置かれた京都から、東京への遷都が行われたのです。

## 2. 1枚の絵から

明治天皇の一行が江戸城に入る様子を描いたのが、下の絵です。

ほうれん  
〔鳳 麓 江戸城に入るの図〕 東京大学史料編纂所所蔵



▲この史料は、東京大学史料編纂所のホームページで見ることができます。→トップページ>データベース検索>データベース選択画面>錦絵データベース>キーワード「江戸城」で検索。

まず、子どもたちにこの絵を見せて、何が描かれているのかを自由に発表させます。すると、子どもたちは、いろいろな服装の人に注目するはずですが、公家や武士のような服装の人がいれば、ズボンをはいた洋装の人もあります。そこに目をつけると、次にこの絵がどの時代の出来事を描いているのかを考え出すようになります。

また、様々な旗にも目がいくのではないのでしょうか。さらに、城門へと続く道には幕が張られ、そこには菊の紋章（日本の皇室の紋章）が描かれています。「輿こしに乗っているのは天皇？」そんな声も聞こえてくるはずですが。

子どもたちの発言を黒板にまとめながら、「明治時代になって東京遷都が行われた」ということを伝えます。そして、続けて次のような発問をします。

では、天皇が東京に移ることを、京都の人々はどうに思っていたのでしょうか？

実は、京都の町の人たちは、このことを聞き、大パニックに陥ったそうです。天皇が東京に行くことになれば、多くの公家や御用達の店なども東京に越していくこととなります。それでは、京都の町はひなびた田舎町になってしまうのではないかと危惧したようです。そこで、さらに発問を続けます。

京都の人は、これからの京都の町のことを考え、あることを行いました。さて、何をしたのでしょうか？

京都の人々は「これからの京都を背負っていく子どもたちが大切。まず、子どもたちが勉強するための小学校をつくろう！」と考え、明治2年に「ほんぐみ番組小学校」と呼ばれる小学校(64校)を自分たちの力で創設したのです。政府による学制発布が明治5年ですから、それより3年も早い実施でした。番組小学校は、今の小学校と同じ学区制をとっており、町内会ごとに建設されました。この小学校での学びの様子は、福沢諭吉も視察に来た際、絶賛するほどのすばらしいものだったそうです。

\*参考文献\*

『京都学校物語』(京都通信社) 京都市教育委員会・京都市学校歴史博物館編